

考査項目別運用表(小規模工事)

考査項目	細 別	□ a	□ b	■ c	□ d	□ e						
1. 施工体制	I. 施工体制一般	適切である	ほぼ適切である	他の事項に該当しない	やや不適切である	不適切である						
	<table border="1"> <tr> <td>評価値</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>該当数</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>評価対象</td> <td>7</td> </tr> </table>	評価値	0.0%	該当数	0	評価対象	7	<p>●評価対象項目 対象判定</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出している。 <input checked="" type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <p>●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が80%未満・・・c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>
評価値	0.0%											
該当数	0											
評価対象	7											
	II. 配置技術者 (現場代理人等)	適切である	ほぼ適切である	他の事項に該当しない	やや不適切である	不適切である						
	<table border="1"> <tr> <td>評価値</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>該当数</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>評価対象</td> <td>10</td> </tr> </table>	評価値	0.0%	該当数	0	評価対象	10	<p>●評価対象項目 対象判定</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 監督職員への報告・連絡を適時及び的確に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事前協議を踏まえ、共通仕様書及び諸基準に基づき、工事書類の簡素化の趣旨に則り、工事書類を適切に作成し、整理提出又は提示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <p>●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が80%未満・・・c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>
評価値	0.0%											
該当数	0											
評価対象	10											

考査項目別運用表(小規模工事)

考査項目	細 別	<input type="checkbox"/> a	<input type="checkbox"/> b	<input checked="" type="checkbox"/> c	<input type="checkbox"/> d	<input type="checkbox"/> e						
2. 施工状況	I. 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の事項に該当しない	やや不適切である	不適切である						
	<table border="1"> <tr><td>評価値</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>該当数</td><td>0</td></tr> <tr><td>評価対象</td><td>10</td></tr> </table>	評価値	0.0%	該当数	0	評価対象	10	<p>●評価対象項目 対象判定</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事記録を、過不足無く整理している。 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <p>●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が80%未満・・・c</p>			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	評価値	0.0%										
該当数	0											
評価対象	10											
<p>① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>												
	II. 工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の事項に該当しない	やや不適切である	不適切である						
	<table border="1"> <tr><td>評価値</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>該当数</td><td>0</td></tr> <tr><td>評価対象</td><td>9</td></tr> </table>	評価値	0.0%	該当数	0	評価対象	9	<p>●評価対象項目 対象判定</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 <input checked="" type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <p>●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が80%未満・・・c</p>			<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価値	0.0%											
該当数	0											
評価対象	9											
<p>① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>												
	III. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の事項に該当しない	やや不適切である	不適切である						
	<table border="1"> <tr><td>評価値</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>該当数</td><td>0</td></tr> <tr><td>評価対象</td><td>7</td></tr> </table>	評価値	0.0%	該当数	0	評価対象	7	<p>●評価対象項目 対象判定</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <p>●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が80%未満・・・c</p>			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価値	0.0%											
該当数	0											
評価対象	7											
<p>① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>												

審査項目別運用表(小規模工事)

審査項目	細別	<input type="checkbox"/> a	<input type="checkbox"/> b	<input checked="" type="checkbox"/> c	<input type="checkbox"/> d	<input type="checkbox"/> e						
	IV. 対外関係	適切である	ほぼ適切である	他の事項に該当しない	やや不適切である	不適切である						
	<table border="1"> <tr> <td>評価値</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>該当数</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>評価対象</td> <td>7</td> </tr> </table>	評価値	0.0%	該当数	0	評価対象	7	<p>●評価対象項目 対象判定</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <p>●判断基準 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が80%未満・・・c</p>			<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価値	0.0%											
該当数	0											
評価対象	7											
<p>① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。 ② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。 ③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>												

考査項目別運用表（小規模工事）

考査項目	細 別	□ a	□ b	□ c	□ d	□ e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。
		※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				
① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で出来形管理を行うものである。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。						

考査項目別運用表（小規模工事）

考査項目	細 別	□ a	□ b	□ c	□ d	□ e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。
		※ ばらつきの判断は別紙-4参照。				
① 品質の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督職員と協議の上で品質管理を行うものである。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。						

考査項目別運用表（小規模工事）

(担当監督員)

考査項目	細 別	工 夫 事 項	
5. 創意工夫	I. 創意工夫	<p>【施工】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 運搬車両、施工機械等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工、仮橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までの何れかの段階でICTを活用した工事（電子納品のみは除く）。 <p>※本項目は1点の加点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までの全ての段階でICTを活用した工事。※本項目は2点の加点とする。 <p>※ICT活用による加点は最大2点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工事。 <input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。 <p>【新技術活用】</p> <p>「新技術活用」においては、以下の5項目により、複数の技術の評価を可能とするが、最大3点の加点とする。</p> <p>以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表、新技術活用計画書・実施報告書等を確認した上で評価する。ただし、加対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加措置を行わないものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> (該当技術数：) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 ※本項目は3点の加点とする。 <input type="checkbox"/> (該当技術数：) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> (該当技術数：) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と同程度である。 ※本項目は1点の加点とする。 <input type="checkbox"/> (該当技術数：) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術（「有用とされる技術」を除く）を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> (該当技術数：) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術（「有用とされる技術」を除く）を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 ※本項目は1点の加点とする。 <p>※ここで、「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「活用促進技術」、「推奨技術」、「準推奨技術」、「評価促進技術」等をいう。</p> <p>※複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大3点の加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も最大3点の加点とする。</p> <p>【品質】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。 <input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 配筋、溶接作業等に関する工夫。 <p>【安全衛生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 ※本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） <input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 現場事務所、労務者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。 	<p>【働き方改革】</p> <p>「働き方改革」では、当該工事において、他の模範となるような取組を、以下の項目により、複数評価を可能とするが、最大2点の加点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取り組みが図られている。 <input type="checkbox"/> 若手や女性技術者の登用など、担い手確保に向けた取組が図られている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____) <input type="checkbox"/> その他 (理由: _____)
	記述評価 【レマークを付した 評価内容を詳細記述】	<p>評点 <u> 0 </u> 点</p>	<p>【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載</p>

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ※2. 評価は各項目において1つし点が付されれば1、2、3点で評価し、最大7点の加点評価とする。
 ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。 ※4. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。

考査項目別運用表（小規模工事）

（総括監督員）

考査項目	細別	<input type="checkbox"/> a	<input type="checkbox"/> a'	<input type="checkbox"/> b	<input type="checkbox"/> b'	<input checked="" type="checkbox"/> c	<input type="checkbox"/> d	<input type="checkbox"/> e
2. 施工状況	II. 工程管理	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
	該当数 <input type="text" value="0"/>	<p>●該当する項目の口に「し」印を記入する。</p> <p><input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行なったことにより、夜間工事の回避等を行い、工事による地域への影響を軽減させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場閉所による週休2日（4週8休以上）に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ここに数式を入力します）</p> <p>理由： _____</p>						
		<p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c、d、e評価を行う。</p>						
		<p>判断基準目安（※特に評価できる場合には、この目安によらず評価することができる）</p> <p>該当5項目以上・・・・・・ a</p> <p>該当4項目・・・・・・ a'</p> <p>該当3項目・・・・・・ b</p> <p>該当1、2項目・・・・・・ b'</p> <p>該当0項目・・・・・・ c</p> <p>d評価は、工程管理に関して監督職員が文書による改善指示を行った場合選択できる。</p> <p>また、e評価は、文書注意による改善に従わなかった場合に評価することができる。</p>						
	III. 安全対策	<input type="checkbox"/> a	<input type="checkbox"/> a'	<input type="checkbox"/> b	<input type="checkbox"/> b'	<input checked="" type="checkbox"/> c	<input type="checkbox"/> d	<input type="checkbox"/> e
	該当数 <input type="text" value="0"/>	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
		<p>●該当する項目の口に「し」印を記入する。</p> <p><input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 協議会等での活動に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ここに数式を入力します）</p> <p>理由： _____</p>						
		<p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c、d、e評価を行う。</p>						
		<p>判断基準目安（※特に評価できる場合には、この目安によらず評価することができる）</p> <p>該当5項目以上・・・・・・ a</p> <p>該当4項目・・・・・・ a'</p> <p>該当3項目・・・・・・ b</p> <p>該当1、2項目・・・・・・ b'</p> <p>該当0項目・・・・・・ c</p> <p>d評価は、安全管理に関して監督職員が文書による改善指示を行った場合選択できる。</p> <p>また、e評価は、文書注意による改善に従わなかった場合に評価することができる。</p>						

考査項目別運用表（小規模工事）

（総括監督員）

考査項目	細別	対応事項	【事例】 具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応	I 構造物の特殊性への対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状が複雑であることから、施工条件が特に変化する工事 <input type="checkbox"/> 3. その他 { 理由: _____ } ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば 4点の加点 とする。	(1.について) 切工の工工量：20万m ³ 以上、盛工の工工量：15万m ³ 以上、護岸・築堤の平均高さ：10m以上、トンネル(削工)の直径：8m以上、ダム用水門の設計水深：25m以上、樋門又は樋管の内空断面積：15m ² 以上、揚排水機場の吐出管径：2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長：25m以上、堰又は水門の径間数：3径間以上、堰又は水門の扉体面積：50m ² /門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ：20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積：100m ² 以上、トンネル(沈理工法)の内空平均面積：300m ² 以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深：10m以上、地滑り防止工：幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量：100万m ³ 以上、流路工の計画高水流量：500m ³ /s以上、砂防ダムの堤高：15m以上、ダムの堤高：150m以上、転流トンネルの流下能力：400m ³ /s以上、橋梁下部工の高さ：30m以上、橋梁上部工の最大支間長：100m以上 (2.について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3.について) ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
		II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 <input type="checkbox"/> 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 7. 環道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 8. 事故や災害発生直後等の緊急的な対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 <input type="checkbox"/> 10. その他 { 理由: _____ } ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば 6点の加点 とする。	(4.について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5.について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 (6.について) ・市街地での夜間工事。 ・DID地区での工事。 (7.について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8.について) ・事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事で、24時間対応の施工等により早期の完成が求められる工事。 (9.について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。
		III 厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 1. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 2. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 3. 被災箇所の措置や峻峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 4. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 5. 維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事 <input type="checkbox"/> 6. その他 { 理由: _____ } ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば 4点の加点 とする。	(11.について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (12.について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13.について) ・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事。 ・峻峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）。 ・斜面上又は峻峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 (14.について) ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15.について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。
		IV 長期工事における安全確保への対応 <input type="checkbox"/> 7. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間は除く） ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 <input type="checkbox"/> 8. その他 { 理由: _____ } ※上記の対応事項に1つ以上し点が付けば 6点の加点 とする。	
	評価	評点： 〇 点	

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
 ※2. 評価にあたっては、担当監督員の意見も参考に評価する。

考査項目別運用表（小規模工事）

（総括監督員）

考査項目	細別	<input type="checkbox"/> a 優れている	<input type="checkbox"/> a' bより優れている	<input type="checkbox"/> b やや優れている	<input type="checkbox"/> b' cより優れている	<input checked="" type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<p>●該当する項目の口に「し」印を記入する。</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 { 理由： _____ }</p>				
	該当数					
		<p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。</p>		<p>判断基準目安（※特に評価できる場合には、この目安によらず評価することができる）</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・a'</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当1、2項目・・・b'</p>		

考査項目別運用表（小規模工事）

（総括監督員）

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
7. 法令遵守等	措 置 内 容	点 数
	<input type="radio"/> 1.指名停止3ヶ月以上	－ 20 点
	<input type="radio"/> 2.指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	－ 15 点
	<input type="radio"/> 3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	－ 13 点
	<input type="radio"/> 4.指名停止2週間以上1ヶ月未満	－ 10 点
	<input type="radio"/> 5.文書注意	－ 8 点
	<input type="radio"/> 6.口頭注意	－ 5 点
	<input type="radio"/> 7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	－ 3 点
	<input type="checkbox"/> 8.その他 理由： _____	－ 点
	<input checked="" type="radio"/> 9.項目該当なし	
<p>① 本考査項目（7.法令遵守等）で評価する事例は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために当該工事現場に従事する者に限定する。</p> <p>④ 総合評価方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減する措置を行う。 ※不履行となった評価項目が1つの場合は5点減点、2つ以上の場合は10点減点とする。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4.廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5.当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。 6.一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9.監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10.下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。 11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 12.受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。 13.下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 14.安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。 15.受注者が社会保険等未加入建設業者の下請負人と契約を締結した。（措置内容については、指名停止等の区分による） 		

考查項目別運用表（小規模工事）

考查項目	細 別	<input type="checkbox"/> a	<input type="checkbox"/> b	<input checked="" type="checkbox"/> c	<input type="checkbox"/> d	<input type="checkbox"/> e		
2. 施工状況	I. 施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
		<p>●評価対象項目 対象判定</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとになっていることが確認できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現場条件又は計画内容に重要な変更が生じた場合（工期や数量等の軽微な変更は除く）は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 工事材料を品質に影響が無いよう保管していることが確認できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 工事関係書類を事前協議に基づき過不足なく作成していることが確認できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員</p>		<p><input type="checkbox"/> 施工管理について、監督職員</p> <p>従わなかった。</p>	
	評価値	0.0%						
	該当数	0						
	評価対象	9						
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・ b</p> <p>評価値が80%未満・・・・・・・・・・ c</p>						
		<p>① 評価対象項目が当該工事において評価の対象となる場合には「対象」欄の口に「レ」印を記入し、評価の対象とならない場合は空欄とする。</p> <p>② 「レ」印を記入した項目について該当する場合は「判定」欄の口に「レ」印を記入する。</p> <p>③ 対象欄に「レ」印のある項目数を分母として比率（%）計算の値で評価する。</p> <p>④ 評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</p> <p>⑤ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>						

考查項目別運用表(小規模工事)

考查項目	細 別	□ a	□ a'	□ b	□ b'	□ c	□ d	□ e	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
該当数	0	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真（監督職員等が臨場した箇所は除く）で確認できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 理由： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div> <p>※ ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>							

考查項目別運用表(小規模工事)

考查項目	細別	<input type="checkbox"/> a	<input type="checkbox"/> a'	<input type="checkbox"/> b	<input type="checkbox"/> b'	<input type="checkbox"/> c	<input type="checkbox"/> d	<input type="checkbox"/> e																																							
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> (関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験) ※ばらつきの判断は別紙-4参照					品質関係の測定方法又は <input type="checkbox"/> 定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は <input type="checkbox"/> 定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																							
	<table border="1"> <tr><td>評価値</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>該当数</td><td>0</td></tr> <tr><td>評価対象</td><td>24</td></tr> </table>	評価値	0.0%	該当数	0	評価対象	24	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 材料の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工箇所以外の部分に損傷を与えないよう工夫していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工条件や気象条件を考慮して施工したことが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急的な作業に対応できる体制を整えていたことが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工時期や施工場所について地域や環境への配慮をしたことが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 未掘箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 掘削箇所において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 二次製品の品質照合の書類(現物照合)が整理されており、設計図書で指定する品質を満足していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象物に有害なクラック、損傷が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> その他() <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能 ※</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 試験結果の打点数等が少なく(原則10点未満)ばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値(評価値)で評価する。 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>					評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能 ※	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c))が確認できる。
評価値	0.0%																																														
該当数	0																																														
評価対象	24																																														
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能 ※																																										
		50%以下	80%以下	80%を超える																																											
	a	a'	b	b																																											
	a'	b	b'	b'																																											
	b	b'	c	c																																											
	b'	c	c	c																																											

考査項目別運用表（小規模工事）

考査項目	細 別	□ a	□ b	□ c	□ d	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	優れている。	やや優れている。	他の評価に該当しない。	劣っている。	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">該当数</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">0</td> </tr> </table>	該当数	0	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕上げがよい <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 施工対象物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。 <input type="checkbox"/> クラック、隙間、がたつき等がない。 <input type="checkbox"/> 総合的な機能がよい。 </div> <div style="width: 35%;"> <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当5項目以上..... a 該当4項目..... b 該当3項目..... c 該当2項目以下..... d </div> </div>		
該当数	0					